

記録

幼稚園教育課程

幼児指導要録協議會

一月十三日午前十時から文部省別館會議室において、標記協議會の第一回總會が行われた。出席者は文部省側から大島初等教育課長他七氏委員側から小川委員他二十一氏他に各關係者十名餘であつた。

大島課長挨拶の後、委員の自己紹介に續いて現委員の中變更する必要があるか否か、現委員の外に更に委員を必要とするかについての検討の結果、別に變更や追加はせず現委員で進行し、特別の事項についてはその都度臨時に依頼することにし、續いて左の議事が行われた。

1 委員長及び副委員長の選出

その結果、委員長に奈良女子大學奈良女子高等師範學校附屬幼稚園主事小川正通氏が、副委員長に東京都臺東區立竹町幼稚園長鎌田志ん氏及び感應幼稚園主事青柳義智代氏が選出された。

2 今後の運営について

小學校の教育課程及び學籍簿についで文部省關係官から説明の後、本協議會の協議事項についての質疑があり、先ず「幼

児指導要録」の作製を中心とし、別に分科會を設けず、東京及びその近郊の委員を實行委員として進行することに決定した。

なお第一回小委員會を一月十九日開催することとし、その日までに幼児指導要録に盛るべき事項及び參考資料をまとめ原案を作製することとした。

私學審議會の發足と

「全私幼連」の運動

今度私立學校の性格を立法化した、私學にとつて劃期的な法律である「私立學校法」が制定されたにもない全國私立幼稚園連合會では、其の法律の徹底とその法律に定められた私學行政の自主的機關である「私學審議委員會」の組織と連絡のため左記の通り各講師を地方私立幼稚園團體に派遣した。

「私學審議委員會」は、各府縣單位に構成されるもので、高等學校、中學校、小學校及幼稚園の各團體連合會が、委員推薦母體に定められてゐる。それに就て、各府縣共、幼稚園長が全員を參集して、派遣講師を圍んで諸般の問題を研究討論すると共に、中、高等學校の代表委員長も列席し「私學審議委員會」の構成並運営に關する諸問題につき協議した。なほ各府縣共、私學が一體となつた團體を、「私學協會連合會」と稱し、その行政面に於ける運動は私學の發達のために目覺しきものが豫想されてゐる。